

日本質量分析学会における男女共同参画推進の取り組み

日本質量分析学会 男女共同参画推進委員会

(委員長 竹内孝江・奈良女子大学、副委員長 堀山志朱代・日本質量分析学会庶務)

Annual Report on the Activity of the Committee for the Promotion of Gender Equality in the Mass Spectrometry Society of Japan (MSSJ)

The Mass Spectrometry Society of Japan

(Takae Takeuchi, Nara Women's University; Shizuyo Horiyama, Secretary of MSSJ)

Abstract:

The Committee for the Promotion of Gender Equality in the Mass Spectrometry Society of Japan was established at the end of 2012. Our website will be added to the MSSJ homepage this September (<http://www.mssj.jp/index.html>). Before this year, conferences which were sponsored by the MSSJ offered child care services during sessions. Our goals include collecting data on gender equality in the working environment and holding a symposium on gender equality. There are many challenges that we face, but we will continue to work hard to promote gender equality in our society.

(一行あける)

1. 男女共同参画推進委員会設立と委員構成

質量分析学者・質量分析技術者が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現させるための諸活動を行うため、2012年12月、それまで日本質量分析学会委員会の中に置かれていた「男女共同参画学協会連絡会担当委員」から昇格させて、「男女共同参画推進委員会」を設立した。

現委員の構成は、国立大学4名、公立大学1名、私立大学2名、企業3名の合計10名、男女比は、女性8名、男性2名である。

2. 目標

本委員会においては、次の3項目を目標にし、男女共同参画推進を行う。

- (1) 多様な人材の活用(ダイバーシティ)は、科学・技術の発展、競争力向上のために必要である。その一環として女性研究者の活躍の場を広げる。
- (2) 社会の持続的発展を目指して、ワーク・ライフ・バランスを推進する。
- (3) 男女の一人ひとりの意識改革を進める。

3. 今年度の活動

- (1) 「男女共同参画推進委員会」のwebページ開設
「男女共同参画推進委員会」のwebページを日本質量分析学会のホームページ(<http://www.mssj.jp/index.html>)内に2013年8月に開設した。ここを通じて本委員会からの情報発信を行っている。
- (2) 年会・討論会等における展示
日本質量分析学会が主催する討論会等((a)および(b))において、男女共同参画推進委員会のポ

- スターを展示し、学会員および一般参加者に、男女共同参画推進を提起した。(a)第3回日本質量分析学会春季シンポジウム～若手、関西地区エキスパート、メーカーによる質量分析最新レポート～・第141回 日本質量分析学会関西談話会(2013年6月20日、大阪)および (b)第61回質量分析総合討論会(2013年9月10～12日、つくば)
- (3) 第61回質量分析総合討論会および第40回BMSコンファレンス(2013年7月8～10日、宮崎)においてベビーシッターを提供した。本活動については本委員会設立前の2006年から継続している取り組みである。
 - (4) 男女共同参画学協会連絡会第11期第5回運営委員会および勉強会「女性科学研究者の環境改善に関する懇親会の歩み」(2013年8月28日、東京)に出席し、女子中高生夏の学校、アンケート調査結果などの連絡会の活動内容を情報収集。
 - (5) 第62回質量分析討論会(2014年開催予定)のプログラム委員会(2013年6月20日開催)において、基調講演・特別講演・キーノート講演の講演者選定にあたって、女性科学技術者を含め、ロールモデルとして示すよう働きかけた。

4. 今後の課題と取り組み

学会員同志の交流の観点から、2014年度開催予定の第62回質量分析討論会において、また男女共同参画に関するシンポジウムまたはワークショップの開催を検討しているところである。

本委員会の活動はまだ始まったばかりである。他学会の男女共同参画に向けた活動を知ることによって、男女共同参画社会を実現させていきたい。

URL: <http://www.mssj.jp/index.html>

http://www.mssj.jp/about/society/society_spectrum.html